

一般社団法人日本人間工学会第 45 回理事会 議事録

1. 開催日：平成 30 年 9 月 13 日（水） 15：00～17：15
2. 開催場所：芝浦工業大学芝浦キャンパス 3 階 305 会議室
3. 出席理事：

<敬称略>

・理事会構成員(27 名・定足数 14 名以上)

(理事)：吉武良治(理事長), 下村義弘(副理事長、企業活動), 赤松幹之(編集), 石橋基範(総務、倫理指針), 大内啓子(財務), 岡田明(企画), 辛島光彦(財務), 申紅仙(若手支援), 鳥居塚崇(国際、安全、認定機構), 中西美和(総務), 福住伸一(認定機構), 藤田祐志(IEA), 松田文子(広報), 水野有希(表彰), 山田クリス孝介(学会改革), 横井孝志(JENC)

[16 名]

(理事兼支部長)：大須賀美恵子(関西), 松岡敏生(東海), 村木里志(編集、九州・沖縄), 村田厚生(中国・四国)

[4 名]

[計：20 名]

(欠席者)：易強(企業活動), 大橋智樹(東北), 加藤麻樹(若手支援), 河合隆史(IEA), 平沢尚毅(北海道), 矢口博之(関東), 横井郁子(学術)

・監事：芳賀繁

・オブザーバー：青木和夫(学術、第 60 回大会長), 榎原毅(学会改革、倫理指針), 堀江良典(表彰)

・事務局：西原彩, 米倉裕美

※下線はネット会議出席者

※出席者の都合上、議事順を一部変更した

4. 議事概要

定足数 14 名を超える 20 名の理事の出席を得て理事会が成立したことを確認した後、定款に従い理事長を議長として議事を進行した。

【審議事項】

(1) 第 1 号議案 第 60 回大会のスケジュールとプログラム編成について (第 60 回大会長)

青木第 60 回大会長より、2019 年 6 月 15 日(土)、16 日(日)に日本大学理工学部駿河台キャンパスにて開催される大会について、準備状況の報告があった。会場の都合により、1 日目は特別講演と研究部会等による企画セッションを主体とし、一般講演は 2 日目を中心に行う旨、説明があった。上記の方針について、承認された。

(2) 第 2 号議案 ACED と JES の関係について (国際協力委員会)

鳥居塚委員長より、JES が ACED の加盟国に正式になることの意義について説明があり、その旨承認された。またそれに伴って ACED 評議会(年 1 回)への参加に係る旅費(3 名分)の予算計上についても承認された。

(3) 第 3 号議案 学会の英文名称について (検討 WG)

検討 WG メンバの鳥居塚国際協力委員長より、学会の英文名称について、海外の学会の動向の調査結果が説明された。英文名称は Japan Ergonomics & Human Factors Society とし、略称 JES とする案が出た(もしくは Japan Human Factors & Ergonomics Society)。なお、本件は定款も変更する必要がある。次回理事会で決定する方針で合意形成された。

(4) 第 4 号議案 第 59 回大会優秀発表奨励賞について (第 5 期表彰委員会)

青木前表彰委員長より、最優秀賞 1 名と優秀賞 3 名の候補者選出結果が示され、承認された。(内容は資料 3 の通り)

(5) 第 5 号議案 今般の災害に関連する会費免除措置について（広報委員会）

松田広報委員長より、今般の諸災害（平成 30 年 7 月豪雨、平成 30 年台風第 21 号、平成 30 年北海道胆振東部地震を含む）に対応して、会員からの申し出により、会費免除措置をとることについて提案され、承認された。また、アナウンス文面に、「罹災証明書を求めることがあります」の文言を入れることとなった。希望者の申し出について、事務局会議メンバでの審議の上、承認し、手続きする（免除措置の条件は、現時点での既存会員で、正会員または準会員、2018 年度分に限るが、支払い済みの場合翌年度に適用）。なお、会計処理については、財務理事が検討・確認することとなった。

【報告事項】

(1) 総務報告

(1-1) 石橋総務理事より、一般社団法人日本人間工学会第 43 回理事会議事録、第 44 回理事会議事録、平成 30 年定時総会議事録が確定した旨、報告があった。

(1-2) 会勢報告（8 月末）

平成 30 年 8 月末現在、会員数 1,403 名、賛助会員 28 社 29 口。

(1-3) メールによる審議および報告事項の結果について

メール審議および報告事項 2 件の結果報告があった。

(2) 財務報告

平成 30 年 8 月度収支計算書(案)が提示され、概ね例年通り推移していることが説明された。

(3) 第 59 回大会報告

大橋大会長欠席のため石橋総務理事より、演題数及び会計の報告があった。

(4) 第 60 回大会準備状況報告

青木大会長より、大会実行委員会での検討状況について報告があった。

(5) 担当・委員会報告

(5-1) 広報委員会

松田委員長より、JES ニュースレター vol. 68 及び HP に、今般の災害に対するお見舞いの文面を掲載した旨報告があった。

(5-2) 編集委員会

赤松委員長より、学会誌編集状況、論文投稿数及び採択状況、クイックレビュー状況、執筆要項の改定等についての報告があった。

(5-3) 国際協力委員会

鳥居塚委員長より、IEA2018 の速報として、JES からの参加状況、評議会報告があり、2024 年の 22 回大会の開催地が韓国（済州）に決定したこと、ACED がアジア地域の IEA ネットワークとして承認されたことの報告があった。IEA/CP の動向についても説明があり、今後検討していく方針となった。ACED2020 は 5 月第 4 週ボホール島（フィリピン）にて、IEA2021 は 5 月バンクーバー（カナダ）で開催。

(5-4) ISO/TC159 国内対策委員会（JENC）

横井副委員長より、国内対策委員会委員長が交代したこと、ISO/TC159 の総会への参加状況について、報告があった。

(5-5) 表彰委員会

堀江委員長から、IEA2018 での受賞について報告があった。

・ The IEA Fellowship に青木和夫先生、野呂影勇先生

・ IEA Human Factors and Ergonomics Prize に公益財団法人大原記念労働科学研究所（労研）

(5-6) 企画担当

岡田企画担当理事より、企画担当メンバとして、三坂昇司氏を追加する旨報告があった。

(5-7) 人間工学専門家認定機構

福住機構長より、認定試験実施状況について報告があった。

(5-8) 若手支援委員会

吉武理事長より、仙台の大会での学生を集めたワークショップを開催し、盛況であった旨、報告があった。

(5-9) 企業活動推進委員会

下村副理事長より、メールベースでの議論状況と活動方針について報告があった。

(5-10) 学会改革・戦略委員会

榎原委員長より、アクションプランに従った具体案の検討状況について報告があった。

(5-11) IEA 担当

藤田 IEA 担当理事より、IEA2018 の開催報告があった。また、IEA 会長の任期満了の報告があり、JES からの支援に対する感謝が伝えられた。

(6) 支部報告

(6-1) 北海道支部

(6-2) 東北支部

(6-3) 関東支部

支部長欠席のため、石橋総務理事より、関東支部大会の準備状況について報告があった。

(6-4) 東海支部

松岡支部長より、東海支部研究大会(2018年10月20日)の開催概要について報告があった。

(6-5) 関西支部

大須賀支部長より、事務局の引継ぎ、関西支部大会を2018年12月8日に滋賀医科大学にて開催することについて、報告があった。総会・春季講演会は2019年3月23日に大阪工業大学梅田キャンパスにて開催。次年度の大会は、金沢工大で開催予定。支部大会の講演集のアーカイブ、支部での会員の連絡先の把握について、本部での検討依頼があった。

(6-6) 中国・四国支部

村田支部長より、2018年12月8日に岡山大学にて支部大会を開催する旨、報告があった。第61回大会2020年6月13日、14日に広島県尾道市(尾道市役所、尾道市民会館、しまなみ交流館)にて開催する方向で検討中である旨報告があった。

(6-7) 九州・沖縄支部

支部大会を2018年11月9日に長崎市で開催する旨、報告があった。支部会員に対する連絡方法について(メーリングリストなど)、本部での検討が依頼された。

(7) 協賛等の依頼

石橋総務担当理事より、合計23件の依頼について、協賛及び後援する旨報告があり、承認された。

(8) 閉会

以上の議事を終え、17時15分に閉会した。

上記の決議を明確にするため、代表理事、監事がこれに記名押印する。

平成30年9月13日

代表理事

吉武良治[Ⓔ]

監事

芳賀繁[Ⓔ]